

刊夕日五月二十



定価一冊金... 発行所 常磐毎日新聞社

救護法に就て [五]

平町共済會委員 門傳清吾

第二十七條 救護を受けたる者救護に要したる費用の辨償を爲すの資力あるときに至りたるときは救護の費用を負担したる市町村又は道府縣は救護を廢止したる日より五年以内に其費用の全部又は一部の償還を命ずることを得

右規定は第二十六條の場合とは異り被救護者が救護を受ける時には資力が無かつたが其後救護費用を辨償し得る資力あるに至つた時は救護の費用を負担したる市町村又は道府縣は救護を廢止したる日より五年以内に其費用の全部又は一部の償還を命ずることを得べきことも當然の事であるが右規定に依れば「廢止の日より五年以内に云々」とあるから五年を経過した以後は其償還を命ずることができぬものと解することが出来る。

第二十八條 救護を受けたる者死亡したる時は市町村長は命令の定むる所に依り遺留の金

錢を以て救護及埋葬に要する費用に充當し仍足らざるときは遺留の物品を賣却して之に充當することを得
此の規定も當然の規定で説明の要はないが右規定に依りて救護及埋葬費に充當して尙殘餘金錢又は物品がある場合は如何にするかの問題である、此場合は民法の相続法に従ひ其相続人ある時は其相続人に對して引渡すことになるのであるが其相続人ないときは其金品は國

庫に歸屬するのである。
第六章 雜則
本報に於ては反則者に對する制裁免稅其他に付き規定してある即ち
第二十九條 救護を受けたる者左に掲ぐる事由の一に該當するときは市町村長は救護を爲さざることを得
一、本法又は本法に基きて發する命令に依り市町村長又は救護施設の長の爲したる處分に從はざる時
二、故なく救護に關する檢診又は調査を拒みたる時
三、性行著しく不良なるとき又は著しく怠惰なるとき

賀川豊彦作
残りたるこの一枚の破れ衣、神のためには脱かんとぞ思ふ

豊彦を想ふの歌 中村月城
ほろりほろり熱き涙の落つるかな我豊彦の心境思ひば
あなたふと君破れ衣身にまとい國の内外に道を傳ふる

君の命今後五年と醫者は断定せりと聞く
君ひとり先立たせはせじもろとも往かばゆぎなむ天津ふるさと
天の原振さけ見ればグロリヤに輝きてあり靈のふるさと

回冬衣暴落日初荷着回

嶄新な柄大衆的なお値段

着尺モスと本場銘仙

御婚禮衣裳七五三御祝者

新柄豊富に取揃へました

新型シヨール入荷

三井吳服店

電話 二三八番

醫學博士 名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院

福島縣平町五ノ廿八 約卸治療 福島縣平町白銀町九 産婆 關口悦子

器灸温ムウチラ

表價定 金拾參圓上製桐箱入一揃 金拾圓上製桐箱入一揃 (說明書呈)

冬服衞心

紺色柄物... 最新柄... 最上紺黒... 高級品... 平町正札堂洋服店 電話四三六

正確の時計 平一常盤屋時計店 好適の眼鏡 お客様本位の...

木村病院 平新川町十九 電話一六四番 産人科 院長 木村寅次郎 内臓外科 醫學士 松永憲一

玉屋洋品店 平町田町通 電話六五六番

新川

縣費支辨川に 縣會へ請願

今迄改修工事に投じた 工費が廿二萬圓に達す 今後には負擔に耐えぬ

新川の改修工事を目的とする平町外飯野内郷兩村聯合の惡水豫防組合は大正元年創立以來その投じた工費は廿三萬餘圓の巨額に達し内縣費補助は七萬圓に及んで居るが將來も尙ほ多額の工費を要するので各町村關係地至も工費負擔が容易でない處から此程組合總會に於て協議の結果同河川を縣費支辨川に編入すべく運動を起す事となり伏見平町長外飯野内郷兩村長は目下開會中の縣會に陳情の爲め近く出縣する事になつたと

救助船着工

小島方部で

石城郡内郷村消防第八部小

名物男

高野君去る

三十年近く住んだ 平町を後に東京へ

今度卅年近く住み馴れた平町を後にして東京市に移り住む事になつた平消防組小頭高野得助君は平町に於ける一名物的存在であつた、郷

石城郡出 平町各種 身在満兵 團体募集 慰問金品

五日現在

- 二丁目投(五圓)丹野榮三郎 根本善吉(三圓)關内正一 鈴木堅助(二圓)田巻造酒之助 谷口長治 樋口三郎(一圓五十錢)中野庄吉(一圓)山崎孝之助 大村一郎 關内慶次郎 尼子自動車店 山崎勇治 ぶでや洋品店 佐藤巖

里は茨城縣であるが小時より平町二丁目坂田金物店に奉公し其の實直さは主人藤助氏に眼をかけられいはいらき新聞社の幹部が平町に始めて根を下ろしに來た時には、年小僅か十七才にして主人の命を受け

- ウシク子供服店 鈴木喜義 北海屋商店 大平徳兵衛 石川トヨ 三井文吉 江尻康吉 花澤久一郎 大堀松吉 三井四郎 田中マキ 鈴木常雄 佐藤マツエ 千葉富次郎 菅照武 小松崎善四郎 渡邊ウメノ 白土義平 阿部助次郎 星野久八 星見金太郎 望月辰藏 伊關房治 柏原英吾 渡邊勝三郎 酒井喜七 梅野辰之助 對島竹松 漆原コウ(五十錢)陣野文三 清野傳太工門 佐久間清吉 鈴木寅太郎 大黒屋商店 猪狩廣吉 小齊角彌 鈴木康左右 加藤宇之吉 大槻重雄 鈴木一郎 遠藤市松 鈴木賢治 馬目英三郎 柳澤庄三郎 會田タミ 長瀬富一 萩野直治 吉田梅次郎 鈴木長松 山家重吉 根本榮介 都甲正三 相澤文之助 野口セイ 日暮ヨシ 三井秀吉 馬目文七 鶴沼喜茂 染野重二郎 (三十錢)大森ユウ 渡邊良平(二十錢)館喜江 高

- 木安藏 下山田喜一 □五丁目投(二圓)平松武井上茂作(一圓)河井玄五 次郎 片寄小彌太 熊谷保高 志賀與市(五十錢) 圓野市太郎 吉田豊 小菅岩太郎 植村久怒 佐々木浦吉 遠藤爲吉 胤口豊 三森長次郎(三十錢) 高田敏藏 三森猪之助 遠藤淺香 引地利四郎 片寄マサ(二十錢)山内トミ 小林鐵太郎 坂本俊一 久保田徳太郎 スピーデー自動車工場 佐川桃太郎 鈴木キヲ 馬目勇 松本三平 高羽英雄 大河内寅一 菅波正助 根本一郎 馬目留吉 山崎辰造 笠原豊樹 岡部重太郎 澁市喜 小鍛冶キクノ 山崎芳松 矢部眞之助 阿部正吉 坂本豊勝 荒忠藏(十錢) 安齊信之助 宇佐美松壽 吉田植雄 志賀友吉 星升次郎(眞綿三十枚)篠崎忠之助(手拭二反)草野源四郎(黒スキ一)片寄文四郎(雜誌十冊)片寄友次(手拭三反)磐城建物會社

漸次大型の漁船へ 石城各濱は目下秋職中で鱒平目その他の魚類の豊漁で活況を呈してゐるが近來の漁業不振から各漁業者間の競争激しく漁群は次第に沖へ移動し小型漁船では出漁出來ぬ状態となつたので遠海漁場を目標とする業者は大型漁船を建造しつゝ、あが漁業界の將來發展の一畫期を期待されてゐる

高久消防協賛 石城郡久村消防組では六月半

内郷消防組總出 破損道路の改修 延長二百間に及ぶ

石城郡内郷村消防組では同村新町より飯野村に至る村道が破損甚だしく交通に差支へる爲め四日より組員總出を以て破損箇所二百間の改修工事を始めた

出征者家族の生活状態 石城町村長會調査 長支

善華會其他の 在満兵慰問金 平佛教善華會では本日町役場へ滿洲出征兵の爲にと會員の積立金十五圓を寄託して來たが白銀町の石島サダ氏よりも五圓の寄附あり二丁目區民の七十圓九十錢も役場を通じて青年團に委託された

平町人事 結婚 小泉弘氏(二二)小泉文子(一八) 成庄次郎氏(三四)田町二 鈴木シモ(二三)

回死 荒川

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

上田外科醫院 平町 南町 電話二一九番

カクテル 1747 352 151 ランカ

平職業紹介所が年賀状の宛名書きを受付ける

末歳 失業した文筆労働者に 仕事の贈り物

官廳、銀行、會社等にて職を奉じ文筆労働にたづさはつて居た勤人にして人員整理の大嵐や他の事情で罷めさせられ他に求めても職なく失業苦を嘗めて居る者が平町に何人あるかは確實な調査が未だ遂げられて居ないから判然しないが現在平職業紹介所に求職の申込みを爲し適當な勤め口に見舞はれず日を空しめて居る文筆労働者が六十餘名の多きに達して居る、是等の人は何れも恩給とか貯へるとは殆んどなく、明日の日を如何に迎ふべきやに暗然たる時を過して居るが今や歳末となつて迫る正月にも餅代に事欠く悲惨な有様で押し寄せる生活苦に身を細らせそれでも一縷の望みにつながられてか毎日の様に紹介所の門口を訪れる、四家主任は此の人達を見て痛く同情し如何にかして適當な、就職口を斡旋せんものゝ氣を揉んで居るが仲々右から左と捌け口が見當らない、これが筋肉労働者であるならば三日休に一日と云つた工合に何かの土木事業等に捌け口の融通がつかぬでもないが文筆労働者

にはこの様な一時しのぎの仕事は一層求める機會がない、其處で四家主任は年末に際して此人達に仕事の贈り物を爲さんと考へたのが「年賀ハガキの筆耕請負」である、不景氣だ何彼と云つても一年に一度の交誼を表す年賀状だけは廢する事が出來ない、昨年なども平局だけの引請數が約四十萬と稱せられて居る、其處で紹介所が年賀状の宛名書きの受託を開拓し、依頼のあつた葉書を失業者に分けて宛名を書かしむるといふ一つ

の新しい試みを構じたのである、その筆耕賃は未だ確定して居ないが大体百枚に對して筆書きが廿錢、ペンを十錢と踏んで居るらしい、歳末の忙しい時に何百枚何千枚といふ宛名書きは少々ならず億劫さを感じしめる、此時宛名簿と葉書を紹介所に持参すれば零細な金で早速其の用を便じ然も一方人助けにもなるといふのであるから此の試みは各方面から喜ばれる事であらう

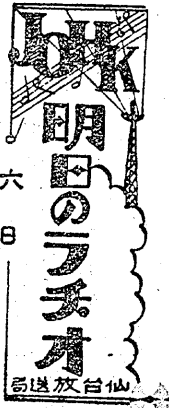
戦争ごつこに 苦情が出た

頼もしいが 畑を荒されて困る

平署取締方嚴達

昨日石城郡飯野村駐在所に附近の農民數名が出頭し「近所の子供が大勢集まつて毎日戦争ごつこをやらかし四畝のねぎ畑を目茶々々に荒して困りますから取締つて下さい」と訴へ出たので取締ることになつたがこ

れを機會に平署から各小学校に取締方嚴達することになつた、最近世界の注目の的となつてゐる滿洲事變に小國民の心は鼓舞されどこの小學生も戦争ごつこを盛んにやつて頼もしいが他家の庭を駆廻つたり外畑を荒



明日のラジオ

今晚も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お伽漫談「落ちない話」古川緑波
- 後六、三〇 英語講座「中等科」上井磯吉
- 後七、三〇 時事講座「滿鐵の使命と將來」法學博士齋藤良衛
- 後八、〇〇 管絃樂「東京音楽學校秋季演奏會」日比谷公會堂より中繼
- 後九、〇〇 連續講談「隨院長兵衛」(終席)神田伯山
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報

窃盗件數で レコード破り

平署近來の大捕物

前科二犯の茨城生れ 泊り客の夜逃げ 捕れて平署へ

石城郡内郷村字金坂地内を三日夜九時頃徘徊する男を密行中の平署員が怪み取調べんとした處逃走を圖つたので

格闘の上 逮捕すると茨城縣東茨城郡竹原村字小會内生れ住所不定窃盗前科二犯川元千代松(三)とて本年八月廿日午前一時頃石城郡小名濱町竹町石丸猛男方に忍入り家人の熟睡中に現金四十圓とビートル二本、正宗一本、蟹籠詰二ヶ等を

窃取逃走 した外郡下各地に於いて窃盗實に七十五件の多きに達すと判明したが平署が本年中に檢舉した窃盗犯で件數の多いのは同人がレコード破りにて同署近來の大捕ものであると

明日の部

- 前九、一〇 養料料理「豚肉の黄味まじし」榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間「三重奏」トリオ・ミカミ
- 前一〇、〇〇 修養講座「歴史美と道徳美」文學博士深作安文
- 前一〇、四〇 時事講座「國際聯盟理事會最近の經過に就て」國際聯盟協會主事赤松祐之
- 後〇、四〇 鏡前琵琶「菊の朝露」福田旭婉
- 後一、二〇 映畫物語「女合では協議の結果部長富野正氏外三十名の消防員が去る一日より夜警を開始し又四軒町櫻町北白銀町方部の十六區でも組合長引地敏氏外三十名が十五日より夜警に當る事になり其他各區も是れと前後して夫々夜警を開始する模様である

警女教員組大勝

平商組との庭球試合 警女平商兩教員チームは昨日午後二時半から警女コートにて庭球試合を爲し左記の結果で警女組が大勝した

警女	平商
(酒井) 3	(武川) 0
(長島) 3	(矢野) 0
(田中) 3	(下山田) 1
(山崎) 3	(新田) 1
(穴井) 3	(中村) 0
(土岐) 3	(長田) 0
(新妻) 3	(宮澤) 1
(志村) 3	(大澤) 1
(鈴木) 3	(高野) 1
(大内) 3	(室原) 1

夜警を開始

平町消防組並びに各區の消防組ではそろそろ火災期節に入つたので火防の準備を寄々協議中であるが仲間町藤匠町方面の十七區火防組

印刷御用命は總て 常警日印刷株式會社 電話三六〇番

運轉手組合に 營業主は反對

既報石城郡下自動車運轉手の相互扶助組合組織に對し一部營業者は極力反對をなし會員の加入することを目下經營從業兩者にらみ合ひの形である

小説 七色紙

【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

濡れ燕 (4)
歌治が新橋の家に戻つて来たのはその日の午後であつた、黙つて格子戸をさらりとあけて沓脱ぎのたゞきに立つた時にちやうど勝手の間にお稽古歸りの抱妓たちが集まつて、頻りに長唄のおさらいをしてゐた。

「あら、變な人が……」など、何んです、何んです。すく〜とこみあげてゐた笑が一時に破れて歌治は思はずぶつとなつた。

「まだ分らないの、随分頓痴氣揃いね、ホ、ホ、ホ。」
「あら、ひどいわ、驚いたんだ、姐さんよ、オホ、……」



一番先きにこの姿を見た若葉といふ妓が咎め立てたが、歌治はすぐには返辭もせず、ただ笑つて突つ立つてゐた。

「あら昆布屋さんよ、今日はよござんした、えつ可いんですの、おことわりですよ。」
半玉の桃子が續いて聲をかけた。

「ちよいと、そんなに笑つてばかりゐないで、早く手拭かなんか濡して早く持つて来て頂戴な、足を拭かなければりや上れないんだからさ、皆んなどうしたの、はやく持つて来てさ……」

騒ぎが烈しいので、二階にゐた抱主のおかねといふ婆さんがしづ〜と下りて来た。

「まあ驚いたよ、何てえ姿でせう、一體どうしたつてえのさ、歌ちゃん。まるで狐々さまにつまゝれて、只今肥溜から上てまゐりまして、あの若ちゃんどつからか電話が懸つて來なかつたこと……」

歌治は息のつくまもなく大急ぎに訊いた。
「ハイ姐さん、懸つて來てよ。もう今朝から三四通……川島さんですつてさ……」
姐さんはまだ歸らないか歸らないか、うるさく何度も聞くからね、え、一週間も懸たなけりや歸つて來ないでせうつて然う言つてやつたわ、姐さんは随分み込まれつちやつとるのよ、おごつて頂戴よ、お目出たう。」

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
淋病 腸虫病 十二指腸病

門專 院醫科 村松
腸病性 胃性 町南平
七〇一話電

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町 電話一七〇

お醤油は ヤマフル

醬油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品

鹽屋 **山崎合名會社**
福島縣平町 電話(營業部一〇番) 醸造工場二七番

市原醫院
平町田町(電話一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局
電話四〇番

外科 X光線科 性病科 外科

平町田町 **安齊外科醫院**
電話四七五番

吉田眼科病院
平町南町、電話六八番

大塚の **學生靴!!!**

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部 電話七七番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 **平看護婦會**
電話三〇七番

増田醫院
平町南町一 電話四八二番